

成果報告会



鏡保育園

田中 和也 園長

Topics

1. 「鏡保育園」の紹介
2. 本事業に申し込んだ理由
3. 取り組み内容
4. 振り返り

1. 「鏡保育園」の紹介



「鏡保育園」の施設概要

施設種別 : 保育所

設置主体 : 社会福祉法人 洗心福社会

所在地 : 唐津市鏡 1 6 8 9 - 1

設立日 : 昭和48年9月

定員 : 150名

職員数 : 4 2 名

「鏡保育園」の特色

- ・地域の資源が豊富で、たくさんの施設や人材、自然を活用した保育ができる
- ・広い園舎、園庭で、こどもたちがのびのび過ごせる
- ・歴史があり、元園児が保護者として帰ってくる

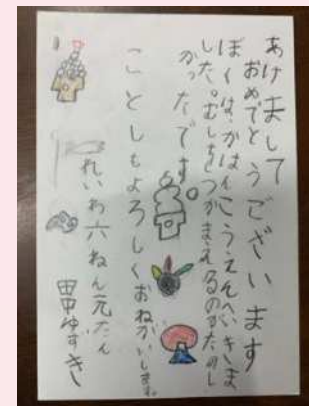
教育・保育の風景



「鏡保育園」の職員自慢

- ・こどもを愛し、寄り添う保育ができている
- ・職員の間で協力する体制（心持ち）ができている
- ・卒園したこどもから、今も連絡がくるくらい絆ができている

いつもありがとうございます



2.本事業に申し込んだ理由



親としてみていた「鏡保育園」から

これまで教諭として働きながら、妻の実家が運営している「鏡保育園」にこどもをあずけていました…。



園長として携わる「鏡保育園」へ

こどもを預けている親として、客観的に保育運営をみている中で、自身も保育運営に携わり、専門の臨床発達学を取り入れることで、より良い保育園にしていきたいという思いが日に日に強くなってきました。

そこで、妻の実家に相談をし、運営を引き継ぐことにしました。



本事業の申込へ・・・

しかしながら、保育運営や経営の知見が少ないこともあり、外部の専門家にアドバイスをもらいたいという思いがありました。

また、ただ運営を引き継ぐだけではなく、「地域の保育の核」となること、そして、職員の皆さんたちが、働きやすい環境にしていくことも目指し、本事業に申し込みをしました。



3. 取り組み内容



現状の把握

職員がそれぞれどう思っているかを確認したいと思い、

コンサルタントにも意見を求めました。

そこで現状の休憩や残業の状況を把握したほうがよい

というアドバイスを参考に、

職員全員にアンケートを実施しました。

アンケートを踏まえて・・・

元々残業については大きな問題がないと思っていましたが、休憩については取得が進んでいないこともあり、アンケートからも改善が必要なことが分かりました。

ただし、働きやすい環境を創ることが目的ではなく、「地域の保育の核」を目指す為に、保育の質向上とその為に必要な職員の働きやすい環境を目指すことが必要と考えました。

そこで保育理念の変更も含めた、抜本的な対応を進めていくことにしました。

目的・目標の設定

目的

- ・ こどもが毎日、「今日はこんなことをしたい。」と、期待感を持って登園する保育（遊びの原理に沿う、あそびひたる）
- ・ 業務の精選と効率化を図り、心理的な余裕が生まれるようにする。

目標

- ・ 職員が心に余裕を持つことができるように、ICT機器の導入による業務のスリム化及び新規事業を行うことでの人材の確保を行う。
- ・ 当園の保育理念、保育目標、保育内容を見つめ直し、職員全員が幼児期において育みたい資質・能力を共有する。

アクション① 理念の変更

アクション詳細

■ 保育理念の変更

課題：長年、仏教保育として歴史を積み重ねてきたが、こどもの主体性をベースとした保育への切り替えが必要

対応：トップダウンでの理念変更ではなく、全職員との面談を通じた、ボトムアップ型で理念を構築



理念変更に伴い、事業や保育も変えた

地域子育て支援拠点事業



地域に開かれた保育園



参考動画



【参考】食育に関する考え方

挿入した動画は大学の教授を迎えて食育研修をした時の様子です。鏡保育園として食育をどのように考えていくか明確化する良い転機となり、鏡保育園の食育理念を立ち上げました。次年度から栄養教諭が中心となって実施していきます。



各年齢のねらい	
年齢	ねらい
0歳児	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中で食を体験し、食の楽しさを伝える。 一人ひとりの発達に合わせた適切な食育をすすめる。食べる意欲を育てる。
1歳児	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活リズムを伝える。 食育の楽しさを体験し、自分で食べようとする意欲を育てる。
2歳児	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい食生活の中で、いろいろな種類の食料や料理に興味をもつ。 食生活に必要な基本的な習慣や態度を身につけていく。
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 いろいろな食料に興味をもつ。 食育の楽しさを伝える。食育の楽しさを伝える。
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> 食が生活の一部であることを感じる。 食べ方や食事のマナーを身につける。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> 食が生活の一部であることを感じる。 食べ方や食事のマナーを身につける。

アクション②ICTシステムの導入

アクション詳細

■ ICTシステム、デバイスの導入

課題：長年、アナログな環境での事務が多く、
業務効率が極めて低い状況

対応：保育ICTの導入と併せて、
パソコンやNASも導入し、
事務環境の構築を行った



ICTシステムの活用

登降園機能



入口付近に登降園用の端末を設置

お便り機能



紙のお便りから、アプリ配信へ



デバイス（パソコン・タブレット）等の活用

パソコン・タブレットの配備



各クラスにパソコンやタブレットを配備し、
園児の体調や欠席確認に使用

録音データの文字起こし



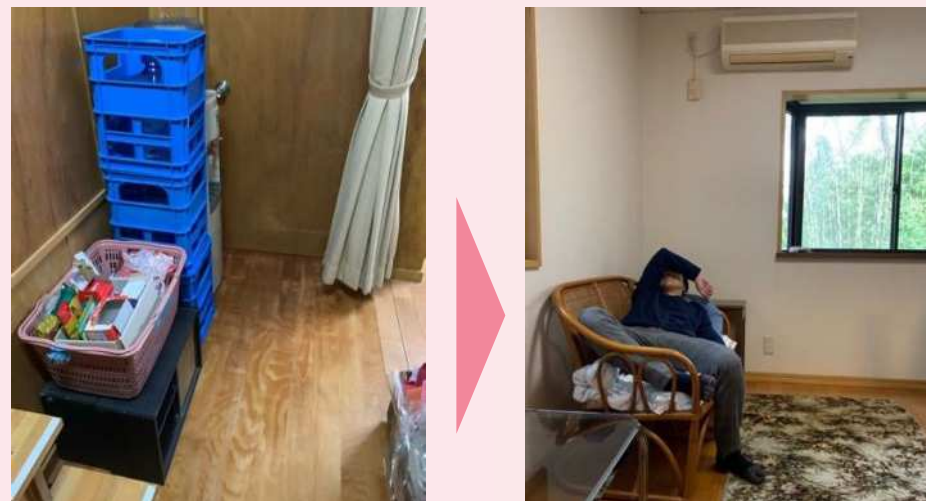
会議の音声を録音（職員には同意済み）し、
自動文字起こしアプリを使って、文書化

その他：各種環境の整備

保護者参観のオンライン実施



休憩室の確保



休憩室がなく、遊戯室倉庫か保育室で休憩をしていた為、園外の離れに休憩室を確保

4.振り返り



今年度の取り組みを振り返って

今年度はハード面の整備を中心に、自ら推進を図ってまいりました。

来年度からソフト面（より日々の業務を軽減するための機能拡充と保育士目線での軽減負担）への着手を進めていこうと考えているなかで、業務の推進役を立てたが、業務の引継ぎ等がうまくいかなかった。

業務引継ぎについては、時間をかけながら、来年度も行っていく。その上で、具体的なアクションを2つ定め、職員と一丸になって進めていく。

アクション① 帳票の簡素化（理念に基づく）

アクション詳細

■ 目標

前年度見直した理念をベースに、
帳票の見直し（保育の質向上）を目指す

■ 対応

・年度前半

職員間の理念の共通理解の促進

・年度後半

次年度に向けた帳票の簡素化



来年度のアクション②：業務におけるシステム化の更なる推進

アクション詳細

■ 目標

ICTで使用する機能を拡張し、雑務軽減を図り、日々の保育に集中できる環境を目指す

■ 対応

- 年度前半
副食費の口座振替、帳票（日誌等）
- 年度後半
ICTを利用した業務の振り返り、更なる改善

メインメニュー	
連絡帳	メッセージ
アンケート	お便り
災害伝言板	Web請求書
献立表	お知らせ

Web請求
4月から実施

成長の記録

測定日		クラス	園児名	登録状況	承認状況	表示順				
2024/01/25		べんざん	園児名	すべて	すべて	クラス>カナ	昇順			
園児名	クラス	登録状況	性別	生年月日	身長 (cm)	体重 (kg)	頭囲	胸囲	カウプ指数	
田中 桃季 とうり	べんざん	未登録	男性	2020/05/04	93 cm	13 kg	cm	cm	15	

ご清聴ありがとうございました

